

YEAR

提供: ExcelPedia

概要

シリアル値から 西暦年を表す整数を返す日付関数です。1900～9999の整数を返します。

参考：関数/日付と時刻の関数

書式

次の書式で引数を指定します。

YEAR(シリアル値)

各引数の説明

シリアル値

日付を表す文字列、またはシリアル値を指定します。もしくはそれらを返す式、もしくは関数、あるいはセル参照を指定します。

使用例

DAY関数使用例

	A	B	C	D	E
1	= "2013/11/18"			=YEAR(A1)	← 「2013」が返ります
2	= "2013/11/58"			=YEAR(A2)	← 「#VALUE!」が返ります
3					
4				=YEAR(41596)	← 「2013」が返ります
5				=YEAR(-1)	← 「#NUM!」が返ります
6					

表のセル部分のみコピーし、ワークシートに貼り付けて、試すことが出来ます。
Internet Explorer 普通に貼り付け / Firefox [形式を選択して貼り付け] - [テキスト]

解説

カレンダー上の「何年何月何日」の「何年」の部分を計算する関数です。引数シリアル値に小数部分（時刻）が含まれていても無視されます。

日付間の年数を計算するためにはDATEDIF関数を使用します。

「<http://localhost/mwiki/index.php/YEAR>」より作成

カテゴリ: 関数 | 関数/日付と時刻の関数

- このページの最終更新は 2013年11月28日 (木) 15:41 に行われました。